

蔡英文再選

——2020年台湾総統選挙と第2期蔡政権の課題——

佐藤幸人・小笠原欣幸・松田康博・川上桃子 【著】

2020年4月

アジア経済研究所

IDE-JETRO

この報告書は、若干の加筆・修正と編集を経て、近日中に電子書籍 (EPUB)として改めて刊行する予定です。

本報告書に収められている内容や見解は執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

©2020 日本貿易振興機構 アジア経済研究所

目次

序章 2020年台湾総統・立法委員選挙と第2期蔡英文政権の課題と展望佐藤幸人.....	1
はじめに	
第1節 台湾の総統選挙の24年	
第2節 本書の成果	
おわりに	
第1章 総統選挙と立法委員選挙——投票結果の分析——小笠原欣幸.....	11
はじめに	
第1節 総統選挙の概況	
第2節 立法委員選挙の概況	
第3節 選挙戦の展開	
第4節 選挙区の現場	
まとめ——2020年選挙の評価	
第2章 米中台関係の展開と蔡英文再選松田康博.....	45
はじめに	
第1節 蔡政権への圧力と支援	
第2節 習政権の「統一促進政策」とトランプ政権の対抗策	
第3節 香港情勢の深刻化と台湾の総統選挙	
第4節 米中の綱引きから逃れられない台湾	
おわりに——結論と将来展望	
第3章 「繁栄と自立のディレンマ」の構図と蔡英文再選——対中経済関係の 視点から——川上桃子.....	75

はじめに

第1節 2010年代の中国の対台湾統一政策の展開

第2節 「基礎コミュニティ(基層)」と若者の取り込み策

第3節 分離する「繁栄」オプションと「自立」オプション

おわりに

第4章 第2期蔡英文政権の課題——経済、社会的側面から——

.....佐藤幸人..... 91

はじめに

第1節 若者の低賃金

第2節 年金と介護

第3節 脱原発・脱石炭を目指す電力改革

まとめ

終章 第2期蔡英文政権の展望小笠原欣幸.....113

第1節 新型コロナウイルスへの対応

第2節 今後の台湾政局

図表一覧

図 1-1 総統選挙各候補得票率の推移(2012-20年)

図 1-2 総統選挙での無効・棄権を含めた票の動き(2012-20年)

図 1-3 総統選挙の投票率の推移(1996-2020年)

図 1-4 総統選挙における民進党とそれ以外の勢力比(1996-2020年)

図 1-5 立法委員選挙の各党議席数の推移(2008-20年)

図 1-6 蔡英文と韓國瑜の支持率の推移(2019年2月-11月)

図 1-7 「一国二制度」拒否をアピールする蔡英文総統の SNS 投稿画像

図 1-8 2020年総統選挙におけるイデオロギーと支持構造

図 2-1 各総統候補支持者のなかで香港の抗議活動に対する支持／不支持の比率

図 2-2 台湾民衆のなかで中国大陸での長期滞在を希望する人の割合

図 2-3 蔡総統の支持率(満足度)の推移(2016年6月-2020年2月)

図 3-1 台湾の輸出・輸入額に占める中国の比率

図 3-2 台湾の対外投資に占める中国の比率の推移

図 3-3 実質経済成長率の推移

- 図 4-1 台湾の輸出先
- 図 4-2 台湾の輸入元
- 図 4-3 台湾の対外直接投資(申告・認可ベース)
- 図 4-4 成長と分配
- 図 4-5 失業率と賃金
- 図 4-6 若者の失業率
- 図 4-7 若者の実質所得(各年 5 月の月収)
- 図 4-8 所得と住宅価格の比率
- 図終-1 2020 年 1 月 2 日、台北松山空港の検疫所を視察する陳時中衛生福利相
- 図終-2 蔡英文総統と馬英九前総統の満足度の比較

- 表 1-1 台湾総統選挙の結果
- 表 1-2 総統選挙 縣市別の各候補の得票率および 2016 年選挙からの変化
- 表 1-3 総統選挙 広域ブロック別の民進党と国民党の得票率の変化(2012-2020 年)
- 表 1-4 2020 年立法委員選挙の各党の議席数
- 表 1-5 立法委員選挙の選挙区の各党得票率の推移(2008-20 年)
- 表 1-6 立法委員選挙 選挙区における各陣営の得票率
- 表 1-7 立法委員選挙原住民枠の当選者
- 表 1-8 立法委員選挙比例区の主要政党の得票率と議席数
- 表 1-9 立法委員選挙比例区の緑陣営、藍陣営、第三勢力の得票率
- 表 1-10 訪問した選挙区と候補者
- 表 2-1 中国および台湾以外で台湾海峡を通過した諸国の海軍艦艇(2018.10-2020.1)
- 表 3-1 「政府の今後 4 年の兩岸政策は現在より開放すべきか、縮小すべきか、現状維持すべきか」という問いへの回答
- 表 4-1 基本賃金の推移
- 表 4-2 社会住宅の建設状況(2020 年 1 月現在)
- 表 4-3 介護制度の利用者数
- 表 4-4 発電の構造
- 表 4-5 再生可能エネルギーの発電容量

執筆者紹介(執筆順)

佐藤幸人(さとう ゆきひと) 序章、第4章

アジア経済研究所研究推進部長。

台湾を中心とする東アジアの企業・産業の研究および台湾の経済社会や経済・社会政策の研究。近年の著作としては佐藤幸人編『東アジアの人文・社会科学における研究評価——制度とその変化——』(アジア経済研究所、2020年)、「台湾電子産業における電子部品部門への傾斜——大立光電と聯詠科技のケーススタディからみた過程と要因——」(『アジア経済』第58巻第4号、2017年)等がある。

小笠原欣幸(おがさわら よしゆき) 第1章、終章

東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授。

台湾政治研究。台湾の総統選挙、立法委員選挙、地方選挙のフィールド調査を続けてきた。著書に『台湾総統選挙』(晃洋書房、2019年)等。[小笠原 HP](<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ogasawara/>)で台湾政治の解説・分析を多数発表している。

松田康博(まつだ やすひろ) 第2章

東京大学東洋文化研究所教授。

中台関係を中心とする東アジアの国際政治。近年は中国の対外行動や米中関係にも関心を広げている。近年の業績としては、松田康博・清水麗編著『現代台湾の政治経済と中台関係』(晃洋書房、2018年)、テイラー・フレイヴェル著、松田康博監訳『中国の領土紛争——武力行使と妥協の論理——』勁草書房、2019年等がある。

川上桃子(かわかみ ももこ) 第3章

アジア経済研究所地域研究センター長。

台湾を中心とする東アジアの産業、企業研究。近年は中台関係の政治経済分析、シリコンバレーのアジア人ハイテクコミュニティにも関心を持つ。近年の著作に川上桃子・松本はる香編『中台関係のダイナミズムと

台湾』(アジア経済研究所、2019 年)、「『問題解決型コア部品』ベンダーとしての台湾企業の興隆過程と知識の獲得」I(『アジア経済』第 59 巻第 4 号、2018 年)等がある。